

# 工場別データ

## 知多工場



所在地 愛知県東海市  
 生産品目 特殊鋼鋼材、型鍛造製品、帯鋼製品  
 敷地面積 1,117千m<sup>2</sup>  
 操業開始 1962年  
 従業員 1,177名



工場長 西村 司

### ●環境方針

- 環境安全を工場長及び全従業員が一致協力して推進します。
- 環境に関する法規制及び取り決め事項を順守します。
- 環境負荷の低減のため次の活動に積極的に取り組めます。
  - ①環境汚染の予防 ③省資源、廃棄物再利用の促進
  - ②省エネ活動の推進 ④環境に優しい特殊鋼の開発と拡販
- 環境目的・目標を設定し、定期的な見直しを行います。
- 教育・訓練を通じ、全従業員の資質の向上に努めます。

### ●環境目標

- 粉じん・ばいじんの発生と飛散防止対策  
(流注場ヒット蓋自動化、製鋼集塵改善、切断場集塵改善ほか)
- 漏油トラブル(側溝への油流入)の予防措置と緊急時訓練の継続
- 副生物の利用拡大と有効活用(スラグ、ダスト、レンガ、スケール、汚泥、廃酸ほか廃棄物)
- 省エネルギーの推進 CO<sub>2</sub>の低減 7kt・CO<sub>2</sub>/年削減(歩留改善、加熱炉原単位向上ほか)
- 環境に優しい特殊鋼鋼材の開発と拡販

### 大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん (g/Nm <sup>3</sup> )	電気炉(5基)	0.04	<0.002	
	NO4ボイラー	0.01	<0.002	
	NO1ボイラー	0.01	<0.002	
	小型圧延加熱炉	0.01	<0.002	
NOx (ppm)	NO4ボイラー	90	80	55
	NO1ボイラー	90	58	46
	小型圧延加熱炉	80	53	23

### 水質

項目	規制値	実績値		
		最大	最小	
有害物質 (mg/L)	カドミウム	0.1	<0.005	
	シアン	1	<0.1	
	有機燐	1	<0.1	
	鉛	0.1	<0.02	
	六価クロム	0.5	<0.04	
	砒素	0.1	<0.01	
	総水銀	0.005	<0.0005	
一般項目	pH	5.5~8.5	8.1	7.0
	COD	20	3.6	1.4
	SS	30	11	1

## 星崎工場



所在地 名古屋市南区  
 生産品目 ステンレス鋼、工具鋼、チタン  
 敷地面積 330千m<sup>2</sup>  
 操業開始 1937年  
 従業員 543名



工場長 中原 修二

当工場は、名古屋市南部の市街地に位置するステンレス鋼・工具鋼の製造拠点であり、チタン、高合金、ターゲット材等の生産も行っていきます。

### ●環境方針

- 一全員参加によるCSR遵守と地域への最大貢献の推進—
- コンプライアンス強化による企業の社会的責任の遵守
  - 省エネ、省資源による地球温暖化防止と循環型社会の形成
  - 環境管理レベル向上による環境汚染予防の強化
  - 地域との連携と地域とともに発展する工場づくり

### ●環境重点取り組み事項

- コンプライアンス  
コンプライアンス遵守継続(環境事故ゼロ)
- 環境リスク低減  
大気中ニッケル発生源対策、CO中毒・油火災等環境リスク低減
- 管理レベル向上  
環境設備の保全管理レベル向上、CO削減と省エネ活動推進、産業廃棄物の削減
- 地域貢献  
地域とのコミュニケーション、緑化推進

### 大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん (g/Nm <sup>3</sup> )	ボイラー	0.05	0.018	<0.002
	大型圧延均熱炉	0.20	0.011	<0.002
	NO1ボイラー	0.20	0.018	0.005
	ボイラー	60	40.6	18.6
NOx (ppm)	大型圧延均熱炉	130	46.0	16.2
	NO1ボイラー	130	52.7	31.8

### 水質

項目	規制値	実績値		
		最大	最小	
有害物質	カドミウム	0.1	<0.005	
	シアン	1	<0.1	
	有機燐	1	<0.1	
	鉛	0.1	<0.02	
	六価クロム	0.5	<0.04	
	砒素	0.1	<0.01	
	総水銀	0.005	<0.0005	
一般項目	pH	5.8~8.5	7.4	6.9
	BOD	20	5.5	1.8
	SS	20	13	<1

## 築地テクノセンター



所在地 名古屋市港区  
 生産品目 クロッシングレール、ポンプ、金属粉末  
 敷地面積 144千m<sup>2</sup>  
 操業開始 1917年  
 従業員 141名



センター長 石山 浩一

### ●基本理念

名古屋市の市街地に立地する築地テクノセンターは、鋳鋼品、鋼塊、金属粉末に関わる事業活動において地域に与える影響を認識し、これまで培ってきた環境管理技術を駆使し、また更に向上させることによって環境負荷の低減に努め、ひいてはこれが地球環境の保全に貢献することを基本理念として、自然と調和できる製品およびサービスを社会に提供します。

### ●環境方針

- 環境マネジメントシステムを構築し、関連会社とともに継続的に改善して汚染の予防に努めます。
- 事業活動が環境に与える影響を十分認識し、環境関連法規制、公害防止協定、地域住民との取り決め事項等を遵守して、積極的に地域と調和した企業づくりに努めます。
- 効率的な事業活動を通じて、消費エネルギーの大半を占める電力消費量の低減、廃棄物リサイクル等の推進、及び環境に優しい製品の供給、開発に努めます。
- 活動の推進にあたっては、環境目的及び環境目標を設定し、更に定期的な見直しを行って環境の保全に努めます。
- 全従業員に環境に関する教育・訓練を実施し、資質の向上に努めます。

### ●土壌汚染について

築地テクノセンターでは2005年3月に土壌汚染を公表し、地下水の揚水による浄化を行っています。今後毎年1度、名古屋市と地域へ状況を報告し、浄化を継続します。

### 水質

項目	規制値	実績値		
		最大	最小	
有害物質	カドミウム	0.1	<0.005	
	シアン	1	<0.1	
	有機燐	1	<0.1	
	鉛	0.1	<0.02	
	六価クロム	0.5	<0.04	
	砒素	0.1	<0.01	
	総水銀	0.005	<0.0005	
一般項目	pH	5.8~8.5	7.9	7.1
	BOD	20	5.2	<0.5
	SS	20	<1.0	<1.0

## 渋川工場



所在地 群馬県渋川市  
 生産品目 火造品、金型用素材、鍛造用ブルーム等  
 敷地面積 180千m<sup>2</sup>  
 操業開始 1937年  
 従業員 420名



工場長 天野 肇

周囲を山に囲まれ、風光明媚な渋川市の市街地に位置し、世界最大規模の特殊溶解設備を有し、ジェットエンジン、ロケット部品などにも使用されるハイスベックな高級鋼、超合金を生産。

### ●工場方針

地域環境に対する取り組みを当工場の事業活動における最重要課題の一つと認識するとともに、地域との調和・より良い共存を目指します。

### ●環境保全活動

- ◆ ゼロエミッション・リサイクル  
スラグ処理場の稼働等、産業廃棄物の有効利用の推進を図っています。
- ◆ 省エネルギー（CO<sub>2</sub>削減）  
都市ガスへの燃料転換を進めています。
- ◆ 地域対策  
当工場は住宅が隣接する市街地にあり、地域環境に格段の配慮を行っています。

### 大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん	ボイラー	0.25	0.015	0.007
	調質焼鈍炉	0.20	0.006	<0.003
	鍛造加熱炉	0.25	0.003	<0.003
NOx	ボイラー	230	94	76
	調質焼鈍炉	180	54	17
	鍛造加熱炉	150	130	99

### 水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質	カドミウム	0.1	<0.005
	シアン	1	<0.1
	有機燐	1	<0.1
	鉛	0.1	<0.01
	六価クロム	0.5	<0.04
	砒素	0.1	<0.01
	総水銀	0.005	<0.0005
一般項目	pH	5.8~8.6	7.2 6.7
	BOD	25	1 <1
	SS	50	2.7 0.1

## 川崎工場



所在地 神奈川県川崎市  
 生産品目 ステンレス鋼、工具鋼、チタン  
 敷地面積 60千m<sup>2</sup>  
 操業開始 1966年  
 従業員 125名



工場長 山本 博行

川崎市臨海部の工業地帯に立地し、ハードディスクドライブ等に使用される快削ステンレス鋼や、航空機部材・生体材料等に使用されるチタン合金など、高級鋼材の生産を行っています。（但し、主任延工程は拠点の集中による生産効率向上を意図し、2010年11月に休止し、星崎工場に移設・集約を行いました。）

### ●工場方針

事業活動を通じて、省資源・廃棄物のリサイクル推進（ゼロエミッションの推進）、省エネルギー活動の推進、および地球にやさしい技術・製品の供給、開発に努めます。

### ●環境保全活動

1. ゼロエミッションの推進  
切削屑の鋼種別回収による再資源化や産業廃棄物のリサイクル化を推進しています。
2. 省エネルギーの推進  
◆ 地域協同でのユーティリティ効率運用プロジェクトへの参画など、省エネ活動を推進しています。  
◆ 星崎工場への主任延工程の集約による全社的な設備運転効率の向上および工場間の運搬に関わるエネルギーの削減を行いました。

### 大気

項目	設備	規制値	実績値	
			最大	最小
煤じん	圧延加熱炉※	0.2	<0.001	
	調質炉	0.25	<0.001	
NOx	圧延加熱炉※	170	49	17
	調質炉	150	39	5

※2010.11~休止

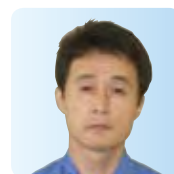
### 水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質	カドミウム	0.1	<0.01
	シアン	1	<0.1
	有機燐	1	<0.1
	鉛	0.1	<0.02
	六価クロム	0.5	<0.05
	砒素	0.1	<0.01
	総水銀	0.005	<0.0005
一般項目	pH	5.8~8.6	8.1 6.6
	COD	60	15.1 5.5
	SS	90	<5

## 王子工場



所在地 東京都北区  
 生産品目 焼入帯鋼、帯鋸  
 敷地面積 8千m<sup>2</sup>  
 操業開始 1955年  
 従業員 20名



工場長 館農 康志

当工場は、製材用帯鋸を中心とした刃物および自動車用クラッチ等に使用される高品質・高機能素材を生産しています。

### ●工場方針

東京都内の工場として、環境保全活動をスパイラルアップさせながら地域・地球環境にやさしい工場づくりを進めています。

### ●環境保全活動

1. 環境汚染の防止  
熱処理工程での油焼入れ時に発生するオイルミストを防止するためノンオイル焼入れ法を確立しました。今後、適用拡大を図ります。
2. 省資源および省エネルギー化  
◆ 購入資材（珪石・梱包）の原単位向上および間紙・ダンボール等のリサイクル資源化を図ります。  
◆ ユーティリティ統合、実働率向上により電力原単位の向上を図ります。

### 大気

特定施設なし

### 水質

項目	規制値	実績値	
		最大	最小
有害物質	特定施設なし	—	—
一般項目	鉛	5.0	<2.5
	動植物油脂類	30.0	<2.5

単位/煤じん：g/Nm<sup>3</sup>、NOx：ppm、有害物質：mg/l、一般項目：mg/l